

教科書 P 32 ~ P 33

2 年 組 番名前

夏の思い出

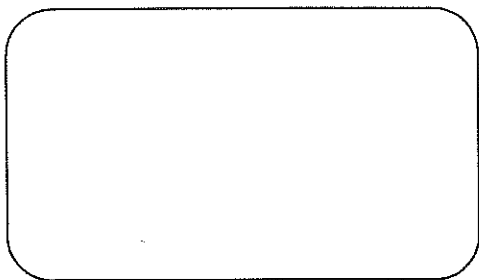
え ま し ょ う こ

江間章子 作詞

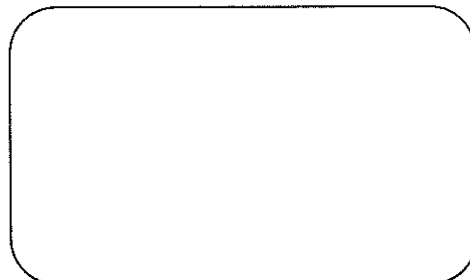
な か だ よ し な お

中田喜直 作曲

歌詞にててくる石楠花・水芭蕉の花を調べて絵を描いてみよう！



石楠花



水芭蕉

江間 章子 えま しょうこ (1913～2005)

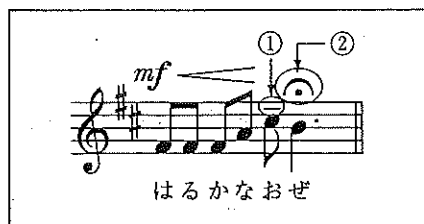
新潟県で生まれ、岩手県で育ち、静岡県旧静岡高等女学校で学びました。学生時代から新詩運動に参加し、卒業後上京して本格的に詩作に取り組みました。「夏の思い出」「花の街」「花のまわりで」など、歌曲の詩も多く手がけました。

中田 喜直 なかだ よしなお (1923～2000)

東京都に生まれ、音楽一家の中で育ちました。小学生のころにはピアノ曲や童謡を作曲していたそうです。父は「早春賦」の作曲者の中田章です。東京音楽学校(東京芸術大学)卒業後、歌曲、童謡、合唱曲など、新しい日本の歌を数多く作曲しました。代表作…「かわいいかくれんぼ」「ちいさい秋みつけた」「雪の降る街を」など。

🎵 歌い方の工夫

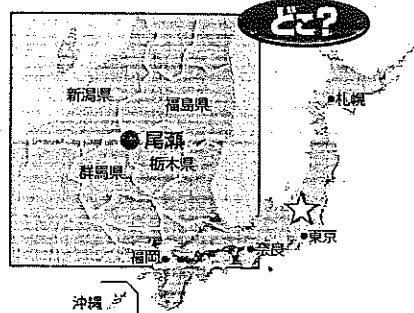
終わりの「はるかなおぜ」の部分では、*mf* (メゾフォルテ) からだんだん声を強くしていき、 $\sim$ (テヌート)、 $\frown$ (フェルマータ) で大きくゆったりと歌います。ほどよく音をのばして歌うことで余韻が生まれ、情感が深まります。盛り上がるの部分に向けて気持ちを高めるように歌ってみよう。



- ①テヌート
その音の長さをじゅうぶんに保って
- ②フェルマータ
その音符(休符)をほどよくのばす

🎵 歌の背景

1949年、中田喜直はNHKから「ラジオ歌謡」のための作曲を依頼され、「夏の思い出」が誕生しました。「ラジオ歌謡」は戦後間もない1946年に始まったラジオの歌番組で、戦争で傷ついた人々の心をなぐさめるヒット曲が次々と生まれました。「夏の思い出」もそんなヒット曲の1つです。



次の強弱記号の意味を書こう

🔊 強弱	メゾ・ピアノ <i>mp</i>	()	メゾ フォルテ <i>mf</i>	()
	ピアノ <i>p</i>	()	クレシェンド <	()
	ピアノニッシモ <i>pp</i>	()	デクレッシェンド <i>dim.</i>	()

 の音符名と拍数を書こう。 音符名 () 拍数 (拍)